

ちいき福祉だより

かかし

(発行元) 中津市社会福祉協議会
 地域福祉課地域福祉係山国
 〒871-0712
 中津市山国町守実89番地1
 (山国社会福祉センター内)
 TEL 0979-62-2898
 FAX 0979-62-2905
 E-mail yamakuni-chiiki@nk.oct-net.jp

山国地区の見守りについて考えました！

“源流の郷”やまくに福祉の会 「拡大会議」が開催

3月2日、57名の参加のもと“源流の郷”やまくに福祉の会「拡大会議」が行なわれました。この拡大会議は、中津市第3次地域福祉活動計画の山国地区の実践目標①「見守り体制をつくらう！」を実行するにあたり、地域の活動団体、地元商店、関係機関(消防・郵便局・学校・行政・社協)が一堂に会し、それぞれの情報や意見を出し合い、見守り体制のしくみづくりを目指すものです。

最初に山崎光司会長から源流の郷やまくに福祉の会の説明、社協より第3次地域福祉活動計画の説明を行ない、その後は8つのグループで「見守りについてのお困りごとや日頃からやっている見守り」そして、「見守り体制をつくるために自分や団体はどんなことをやればいいのか」について話し合いました。

終始熱心に意見が交わされ、山国の福祉の未来を考える良い機会となりました。今後は、小さな地区でも、サロンを中心にした寄合の場などで見守り体制のしくみがつくられていくものに繋がるきっかけになればと思います。



山崎会長あいさつ



グループワークで意見の出し合い

グループワークではこんな意見が出されました

テーマ
～見守り・見守られ～



井上民生委員

《地区での見守りに関する心配ごと・お困りごと》

- ・見守りする人も高齢者
- ・どこまで立ち入って良いかわからない
- ・離れた所に住んでいる一人暮らしの方がいる
- ・行事に参加できなくなっている人がいる
- ・近所の人とお茶のみがなくなった
- ・ほとんどの人が家から出なくなった。特に男性が
- ・認知症の方との関わり方がわからない
- ・一人ぐらしで仕事につかず家に籠もっている人にどう接していいかわからない 等々

《日頃からやっている見守りを活動を教えて》

- ・暗くなっても明かりがつかない時は、様子を見に行く
- ・手作りのお菓子を作った時は持って様子を見に行く
- ・男性がウォーキングついでに見守りをしている
- ・たまの休日には、病院などに連れて行ったりしている
- ・消防で防火週間の時に独居老人宅にアンケートに回る
- ・月1回のサロンにお誘いする
- ・サロンに来れない人に声かけ
- ・道で会えば必ず声かけをしている 等々



森永山国郵便局長

《見守り体制をつくるために自分や団体はどんなことをすればよいか》

- ・回覧板や市報はなるべく手渡しすることを心がける
- ・小地域でチームをつくる
- ・老人クラブなど団体を組織をつくる
- ・見守りの人をどうきめるか。地区内で決めてチラシ等で周知する
- ・移動販売車などを利用すると人が集まるので見守りになる
- ・見守る人の世代交代も必要
- ・見守り活動者同士の情報共有
- ・各地区各団体等の活動を取りまとめ、見守りの空白を埋める活動をしていく
- ・地区の代表(世話のできる人)に情報をまとめる
- ・一人ひとりではなく全員で協力する
- ・困ったときの連絡網等をつくる
- ・見守り体制について全員で話し合う場を持つ
- ・遠くに住んでいる子どもを交えて話し合いをする
- ・サロンに誘う
- ・地区で話し合い声かけグループをつくる。まず、小さいことから始める 等々



高橋消防分団長



船方地域振興課長



唐紙消防分団幹部

第3次地域福祉計画 山国地区スローガン

「住めばみやこ 福祉の里 やまくに」 目指しましょう！

まーちゃん家“元気塾”が開催されました ～ サロンを元気にしたい ～

耶馬溪戸原地区にある、多機能型地域生活拠点まーちゃん家(旧青木健康堂邸)にて、耶馬溪・山国地区のサロンのお世話役の方の参加のもと、歯科衛生士や言語聴覚士の方を招いて、口と耳の研修が2回行われました。

1回目

2月13日(水)、歯科衛生士の有松先生が来所され、よく噛んで食べることは脳を活性化したり、認知症予防となること、災害時には、ペットボトルのキャップ1杯の水でうがいができることについて、参加者も体験しながら学びました。



2回目

2月25日(月)、言語聴覚士の吉田先生が来所され、「聞こえ」の大切さについてお話がありました。年をとったことでの聞こえづらさを予防すること、一口で「聞こえ」と言っても色々な種類の能力を使っていることの説明を受けてから、実際にききとりにくい、伝わりにくい時の工夫について学びました。



※この研修で学んだ内容を、実際に参加した皆さんで3月11日(月)に再度復習し、3月17日(日)開催のサロンだよ！全員集合！の講座で披露してもらうことになっています。

社協からの《お知らせ》

もう登録はお済みですか？

2019年度 ボランティア活動登録・ボランティア活動保険について

2019年度 ボランティア・市民活動登録を受け付けています。グループまたは個人でボランティア活動をしている方が対象です。

また、登録後は安心して活動ができるよう「ボランティア活動保険」に加入していただくことができます。保険料・補償内容等はお気軽にお問合せください。

※毎年更新される方は、4月22日が締め切りとなっています。混雑することもありますので、お早めをお願いします。【TEL 62-2898】

親子で体験 ぼうさい教室



炊飯袋を鍋へ入れる様子



煙体験



地震体験



参加者の感想

3月2日(土)、中津市教育福祉センターにて105名の小学生と保護者の皆さんの参加のもと開催しました。この講座は、災害時にどんなことが起こるのかについて、「地震体験」や「煙体験」、鍋に泥水を入れてもご飯が作れる「ハイゼックス炊飯袋」体験、防災の〇×クイズや非常持ち出し袋の背負い体験等を通して、みんなで防災について考えてもらおうと行われました。

参加した子どもたちは、「震度7は思ったより揺れて怖かった」「袋でご飯が炊けるとは知らなかった」、「また講座をしてほしい」等の声が聞かれました。

災害はいつ発生するかわかりません。日頃より災害はいつでも起こると思って、いざという時には落ち着いて行動するように心がけていきたいものですね。

「オレンジカフェやまくに」

日時: 3月19日(火) 13:00 ~ 15:00

場所: 山国社会福祉センター

参加費: お1人様 100円(飲み物代)



おいしいコーヒーや紅茶を飲みながら、日々の暮らしのこと、健康のこと、もの忘れの心配、介護のことなどお話しませんか？認知症について理解を深めましょう。

【電話】0979-27-8877 【FAX】0979-27-8878

《相談日のおしらせ》

ひとりで悩まないで・・・。
大丈夫・・・。一緒に解決の糸口を見つめましょう。



心配ごと相談

日時 4月10日(水) 9時～12時

場所 山国社会福祉センター 打合せ室

山国地区民生児童委員さんが、色々な心配ごとの相談に応じます。お電話でも相談できます。お気軽にご相談ください。

TEL 62-2898

ほっとテラス(医師による相談)

日時 5月8日(水) 午後2時～4時

場所 中津市教育福祉センター

精神科医が相談に応じます。予約制になっていますので、相談を希望する方は事前に予約をお願いいたします。

TEL 23-2095

町内を移動していると、バスの待合所やお店、歩道等で立ち話をしている方々を見かけます。青空でも寒空でもみかけるこの風景こそが、お互いを見守りあっていることに繋がっているんだと感じています。

これこそが、これからの見守りで大切なことではないでしょうか。

(地域福祉係山国)

